

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

010	3001	事務事業名	畜犬管理事務	細事務事業名		公的関与	4						
PLAN	課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	1 環境施策の総合的推進		主要施策	(1)「環境先進地・東温」づくりの総合的推進				
	事業の対象	東温市民で犬・猫を飼っている方				根拠法令	狂犬病予防法						
	事業の目的	最終的	犬を飼っている全ての東温市民に犬の登録、狂犬病予防注射の接種を推進し、狂犬病の発生・蔓延を防ぐ事。人の生命、身体、財産を侵害する事の無いよう、犬・猫の正しい飼育・管理の啓発・推進を行います。				今年度	狂犬病予防集合注射の実施(4月)、狂犬病予防法に基づく野犬捕獲、狂犬病予防注射率向上、正しい犬猫の飼い方の周知啓発活動を行います。					
	活動内容	狂犬病予防集合注射の実施(毎年4月に東温市内の各地区を回り、注射をします。)				野犬捕獲業務及び死骸回収業務							
		狂犬病予防注射接種率向上の為の周知・啓発活動				所有者・拾得者からの犬猫の引取り業務							
		犬の苦情業務(苦情受付後に現地確認し、犬飼主に対して文章でお知らせ)											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		狂犬病予防注射接種率		(集合注射頭数+個別注射頭数) / 登録実頭数 × 100		%	目標	63	65	65	100		
実績							62	60					
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	5 千円	11 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	1,554 千円	1,499 千円	1,245 千円								
		一般財源	295 千円	1,074 千円	1,205 千円								
		計(A)	1,849 千円	2,578 千円	2,461 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	4,460 千円	0.600 人	4,532 千円	0.600 人	4,523 千円					
		臨時職員工数・経費	0.500 人	856 千円	0.500 人	856 千円	0.500 人	851 千円					
	全体事業費(A+B)		7,165 千円		7,966 千円		7,835 千円						
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	現在、日本では狂犬病は発生していませんが、発生時には狂犬病注射率70パーセント以上の確保が蔓延防止には必要だと言われています。東温市の注射率はまだ達しておらず、当面、集合注射の利用推進、宣伝活動での注射率向上を図る必要があります。												
有効性	平成20年10月より飼い犬猫の引取りが有料化となり、捨犬・捨猫の増加が懸念されましたが、現在そのような傾向はありません。しかし、継続して野犬苦情は増加傾向にある為、保健所の協力の元、捕獲器等による野犬捕獲に尽力する必要があります。												
達成度	東温市の狂犬病注射率は依然として低い為、集合注射の利用推進、宣伝活動での注射率向上を図る必要があります。												
効率性	現在、近隣市町村において、民間実施の狂犬病集合注射が行われてきています。割安な為、東温市内で実施されるようになれば、市と民間実施の集合注射の二極化が予想され、人員・手段等の改善の余地が出てきます。												
当面の課題	注射に関しては実施率向上。野犬に関しては苦情の増加もあり、保健所との協力により捕獲を随時実施していく必要があります。また、犬を捨てる事からの野犬増加、野犬へ餌やりをする事からの野犬の住み付きも懸念されており、捕獲自体に限度があるため、遺棄防止の看板等の設置や、パトロール実施等による根本的な解決が必要です。												
改訂計画	野犬対策に関しては捕獲、パトロール、遺棄防止の看板等による呼びかけ、注射率向上に関してはポスター、広報、ホームページ、回覧等による周知活動を行います。また、平成22度は、動物遺棄防止に向けた協働体制の構築、動物飼育者に対する意識の向上を図るためのパネル展の設営、動物遺棄防止パトロール等の実施検討をしています。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	野犬対策は非常に困難な状況ですが、愛媛県及び区長等地域の代表者との協働体制の構築を図り、捕獲及び遺棄防止に向けた取り組みを推進してください。また、不妊・去勢手術補助制度について検討してください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

010	3002	事務事業名	環境対策事業	細事務事業名		公的関与	4						
課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち	政策項目	1 環境施策の総合的推進	主要施策	(4) 公害等環境問題への対応							
事業の対象	被害を被っている住民			根拠法令	東温市未利用地の環境保全に関する条例、各種環境法令								
事業の目的	最終的	被害が解消されるよう対処して行きます。		今年度	住民からの苦情相談に対応して、現場確認等の調査を行い問題解消のため対処して行きます。								
活動内容	市内未利用地等雑草等の苦情対応事務												
	悪臭、騒音、水質汚濁等の苦情対応事務												
	公害等調査報告関係事務												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
			業務の性質上、指標設定に馴染まない		目標								
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
				実績									
予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費						
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	2,230 千円	0.300 人	2,266 千円	0.300 人	2,261 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,230 千円	2,266 千円	2,261 千円									
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	生活環境を保全していくために、個々事案に対して対処していく必要があります。												
有効性	被害を解消していくことは、環境保全を図るためには有効であると思われます。												
達成度	苦情案件については概ね対処できており、成果が表れています。												
効率性	問題が拡大する前に対応しており、効率的に実施できています。												
当面の課題	苦情事案の中には、住民間のトラブルによるものもあり、又、被害の感じ方についても個人差があるため、行政の対応について一律に取扱いができませんことです。												
改革計画	住民サービスについての判断が個々に異なるため、一律的な改革計画は作れないことから、今後も個別事案ごとの対応により、実施します。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	苦情事案の取扱いや解決の方法は一律ではないので、今後とも個別事案ごとの対応として、重要案件については報告書に残し過日の参考とする等の処理をしてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

010	3005	事務事業名	環境検査・測定その他事業	細事務事業名		公的関与	4						
課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間 年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	1 環境施策の総合的推進		主要施策 (4) 公害等環境問題への対応						
事業の対象	東温市内の河川等、牛舎周辺地域、基幹道路周辺地域、六価クロム発生地域			根拠法令	水質汚濁防止法、悪臭防止法、騒音規制法等								
事業の目的	最終的	環境負荷の発生を早期に把握し、地域環境の保全を図っていきます。		今年度	河川の水質調査、牛舎周辺の悪臭の測定、基幹道路周辺の騒音測定、六価クロム発生地域の観測井戸のモニタリング調査等を実施し、現況を把握することにより環境保全を図っていきます。また、個別の公害等の事案について、現地調査を行い改善を図っていきます。								
活動内容	市内31箇所の河川の水質検査の実施			六価クロム発生地域7箇所の観測井戸のモニタリング調査									
	牛舎周辺地域の悪臭測定			個別の公害苦情事案の対応									
	基幹道路周辺10箇所の騒音測定												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	河川の水質検査場所		水質の経年変化の把握		箇所	目標 31	31	32					
	騒音の測定場所		基幹道路周辺の騒音の把握		箇所	目標 10	10	10					
	六価クロム観測井戸		モニタリング調査による現状の把握		箇所	目標 9	7	7					
						実績 31	31						
						実績 10	10						
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	2,480 千円	2,375 千円	3,550 千円								
	計(A)	2,480 千円	2,375 千円	3,550 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,717 千円	0.500 人	3,777 千円	0.500 人	3,769 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		6,197 千円		6,152 千円		7,319 千円						
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	環境保全を図るために、各種検査及び測定・調査を実施して、環境負荷の発生を早期に把握し、対処していく必要があります。												
有効性	環境負荷を早期に把握することができ、対応ができます。												
達成度	計画的に各項目の検査・測定を実施しており、目標は達成されていると思います。												
効率性	公害等の拡大を未然に防ぐことができるため、効率性はあると思われます。												
当面の課題	環境検査及び測定については今後も継続して実施し、数値上問題がある場合については、早期に対処していく必要があります。												
改革計画	今後も計画的に検査及び測定を実施していきます。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	今後も計画的に検査及び測定を実施し、数値上問題がある場合は対処をし、適切な環境を保つよう現状を維持してください。												

PLAN

DO

CHECK・ACTION

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

010	3012	事務事業名	清掃総務事業	細事務事業名		公的関与	1						
PLAN	課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち	政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実	主要施策	(1)ごみ収集・運搬体制の充実						
	事業の対象	東温市住民、市内全事業所、各種ボランティアグループ、市内全域各区、各組				根拠法令	廃棄物処理法、リサイクル関係法令等						
	事業の目的	最終的	一般廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用の推進と共に、市内から排出された一般廃棄物の適正処理の確保等、循環型社会形成構築に向けた円滑な推進。ごみ完全有料化 粗大ごみの戸別収集 ごみの集積場所の集約化 ごみ処理体制の統一化 ごみ処理体制の充実				今年度	市指定ごみ袋によるごみの減量化の推進や、ごみ処理体制の統一化の検討及び今後のごみ処理の指針となる一般廃棄物処理基本計画の見直し等を行い、適正なごみ処理の推進を図っていきます。					
	活動内容	市指定ごみ袋・ごみカレンダーの作成、各区配布作業及び、組外世帯者への配布事務				廃棄物処理検討委員会で、今後のごみ処理の方向性を検討							
		出前講座による市民へのごみ分別周知徹底および、廃棄物処理法に基づく違法行為の処理業務				一般廃棄物処理基本計画の見直し							
		廃棄物処理法、リサイクル関係法令、県条令等に基づく、各種事務処理											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
				事業の性質上、指標設定ができない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	6,800千円	8,278千円	10,088千円								
		一般財源	485千円	2,707千円	7,277千円								
	計(A)	7,285千円	10,985千円	17,365千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.800人	13,381千円	1.800人	13,597千円	1.800人	13,568千円					
		臨時職員工数・経費	0.500人	856千円	0.500人	856千円	0.500人	851千円					
	全体事業費(A+B)		21,522千円	25,438千円	31,784千円								
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	一般廃棄物の適正な処理は、市の重要な業務です。												
有効性	ごみの分別を行うことにより、リサイクルの推進を図っています。また、ごみ袋に記名していただくことにより、責任のある排出が図られています。												
達成度	分別等の周知を図ることにより、リサイクルを含めた適切な処理を行っています。												
効率性	ごみ袋の有料化や粗大ごみの戸別収集について費用対効果を含めて検討する必要があります。												
当面の課題	市民にとって一番身近な問題であり、市民のニーズに対応し、なおかつ市民の理解を得つつ円滑に処理できる収集形態の構築が当面の最重要課題です。												
改革計画	現在、2地区体制の収集形態を見直し、3地区体制に変更する等、収集形態の検討を行います。収集頻度の見直し等を、諮問機関である「廃棄物処理検討委員会」にて審議していきます。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	非常に重要な案件であり、現在旧町間のごみの収集体制の異なっている部分についての統一化に向けて検討を進めてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

010	3024	事務事業名	不法投棄・環境パトロール事業	細事務事業名		公的関与	2						
課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間 14年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策 (4)ごみの不法投棄対策の推進						
事業の対象	市内に不法に投棄された廃棄物			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 他								
事業の目的	最終的	不法投棄廃棄物の回収による生活環境の向上及び行為者への指導による不法投棄の防止を図ります。		今年度	不法投棄の回収・投棄者への指導を継続することで回収量を減少させます。								
活動内容	市内を巡回することで不法投棄を早期発見します。			ボランティア清掃で回収された廃棄物を処理することで活動を支援します。									
	早期回収をすることで更なる不法投棄を防止します。												
	行為者を特定し指導をすることで不法投棄の防止を図ります。												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	不法投棄回収量		年度ごとの回収量を比較して事業の効果を測ります。		kg	目標	実績	9,960	9,580				
						目標	実績						
						目標	実績						
						目標	実績						
D O	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	4,101千円	4,422千円	5,230千円								
	計(A)	4,101千円	4,422千円	5,230千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100人 743千円	0.100人 755千円	0.100人 753千円								
臨時職員工数・経費		0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円									
全体事業費(A+B)		4,844千円	5,177千円	5,983千円									
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	不法投棄を把握し、回収を行うことにより、地域環境の保全を図っています。												
有効性	類似する国、県の事業では、ごみの回収をしないため、有効と考えます。												
達成度	年々回収量が減少しており、事業効果があったと考えます。												
効率性	入札により民間委託しており適正と考えます。												
当面の課題	本来、河川や市以外の道路管理者が処分すべきものまで回収をしているため、法の主旨に従い各管理者が適正に処分するよう指導する必要があります。また、家庭ごみの不法投棄を無くすよう啓発をしなければなりません。												
改 革 画	児童を対象とした環境教育、啓発看板の設置。管理者が適正管理するよう指導又は要請をします。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	適正な処理体系と住民意識の高揚が必要不可欠ですが、住民意識の高揚はすぐに結果が出るものではないため、今後も着実に啓発活動を実施するとともに、不法投棄の根絶に効果的な他の実施手段の検討にも努めてください。												

P L A N

D O

C H E C K ・ A C T I O N

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

010	3025	事務事業名	ごみ収集事業		細事務事業名			公的関与	1				
課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	45年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策	(1)ごみ収集・運搬体制の充実					
事業の対象	東温市民			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 他								
事業の目的	最終的	廃棄物の排出抑制及び分別による減量を行うことで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。			今年度	適切な廃棄物処理を図って行きます。							
活動内容	家庭から排出される一般廃棄物を収集します。												
	収集した一般廃棄物を適正な方法で処理処分します。												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	リサイクル率		資源化量 / 処理量 × 100		%	目標	28	29	29	29			
						実績	17	19					
						目標							
						実績							
						目標							
実績													
予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	6,354千円	7,927千円	3,010千円								
		一般財源	194,918千円	195,704千円	203,295千円								
	計(A)	201,272千円	203,631千円	206,305千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.300人	2,230千円	0.300人	2,266千円	0.300人	2,261千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		203,502千円		205,897千円		208,566千円							
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	住民から直接要望が多いのは、プラスチック類の毎週収集ですが、現状では月2回の収集となっており、変更については、保管場所及び地域の協力が必要となってきます。												
有効性	ごみの排出抑制及び減量化を実現するためには、現在の社会情勢下では現体制は有効と考えます。												
達成度	資源物(特に古紙)の持ち去りが行われており、収集量・資源化量ともに以前の量まで回復していません。このことが資源化率を低下させる大きな原因と考えます。												
効率性	可能なものから入札を導入し、ほとんどの業務を民間委託しています。												
当面の課題	プラスチック類の収集回数を始めとして収集体制を改善する余地があります。事業費を抑制するために、処理方法の見直しや民間活用ができないか引き続き検討します。												
改 革 画	旧ごみ焼却施設解体後の跡地利用を含め、周辺市町の有料化や戸別収集等の施策を参考に収集体制の変更を検討していきます。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	旧町間のごみ処理体制の異なっている部分についての統一に向けて、処理計画の見直しを進めてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

010	3027	事務事業名	清掃施設事業	細事務事業名	清掃施設管理運営事業	公的関与	3						
課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp						
事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間 2年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実 主要施策 (2)ごみ処理体制の充実								
事業の対象	東温市民及び市内事業所			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 他								
事業の目的	最終的	分別して排出された廃棄物を適正に処理します。		今年度	安全かつ適正に処理を行います。								
活動内容	クリーンセンターの運営												
	リサイクルセンターの運営												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	事故発生件数		施設での事故件数		件	目標	0	0	0	0			
						実績	0	0					
						目標							
						実績							
					目標								
					実績								
予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費				
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円									
	地方債	0千円	0千円	0千円									
	その他特定財源	3,546千円	3,789千円	4,075千円									
	一般財源	63,907千円	64,491千円	69,780千円									
	計(A)	67,453千円	68,280千円	73,855千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	2.200人	16,355千円	2.200人	16,619千円	2.200人	16,584千円						
	臨時職員工数・経費	7.000人	11,977千円	7.000人	11,977千円	7.000人	11,914千円						
全体事業費(A+B)		95,785千円	96,876千円	102,353千円									
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	生活環境を清潔に保つために必要不可欠な事業です。												
有効性	現状では事故無く安全に管理できていますが、施設の老朽化が一部で目立つので、改修が必要です。												
達成度	安全運転管理を徹底し、事故の発生を防いでいます。												
効率性	保守点検を行うことにより、改修箇所の年次計画を立てて、効率的な維持管理を行っています。												
当面の課題	施設の老朽化に伴う維持管理費用の増加が挙げられます。												
改計画	計画的な点検及び補修工事により延命を図ります。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	今後のごみ処理施設の建設について、将来を見据えた十分な検討をする必要があります。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

010	3028	事務事業名	旧ごみ焼却施設解体撤去事業	細事務事業名		公的関与	4						
PLAN	課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	21年度～22年度	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策	(2)ごみ処理体制の充実				
	事業の対象	廃止をしている旧ごみ焼却施設				根拠法令	ダイオキシン類対策特別措置法						
	事業の目的	最終的	廃止をしている旧ごみ焼却施設の解体撤去を行い、跡地にプラスチック製容器包装類の一時保管施設(ストックヤード)を建設します。				今年度	廃止をしている旧ごみ焼却施設の解体撤去を行い、跡地利用についてストックヤード建設工事の設計等を実施します。					
	活動内容	旧ごみ焼却施設の解体撤去工事				解体撤去後の跡地利用施設の調査・設計業務							
		旧ごみ焼却施設の電気設備改修工事				解体施設周辺の地下水分析業務							
		旧ごみ焼却施設の解体撤去工事に係る施行管理業務											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標		
				業務の性質上、指標設定に馴染まない			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費		平成	20	年度決算	平成	21	年度決算	平成	22	年度予算	備考	
		国・県支出金			0千円			28,815千円			11,066千円		
		地方債			0千円			51,800千円			19,900千円		
		その他特定財源			0千円			0千円			0千円		
		一般財源			0千円			13,931千円			13,547千円		
		計(A)			0千円			94,546千円			44,513千円		
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000	人	0千円	0.400	人	3,022千円	0.600	人	4,523千円		
		臨時職員工数・経費	0.000	人	0千円	0.000	人	0千円	0.000	人	0千円		
	全体事業費(A+B)				0千円			97,568千円			49,036千円		
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	廃止している旧ごみ焼却施設であり、適切に解体撤去する必要があります。												
有効性	ダイオキシンの発生がある施設なので適正な維持管理が必要となっており、適正に処理しなければなりません。												
達成度	ダイオキシン類に対する調査及び洗浄等を適切に行い、安全に解体撤去を実施しました。												
効率性	一般競争入札等の実施により、安価で実施することができました。												
当面の課題	跡地利用について、ごみ処理の総合的な計画に合わせ、検討していく必要があります。												
改訂計画	ごみ処理計画に合わせた、ストックヤードの整備計画をたてていきます。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	計画に沿って適正に実施する必要があります。												